

学校だより

四中の風

令和6年度
第5号
R6.7.18
文責：校長
安達正治

「一学期間、お世話になりました」

梅雨明けの発表はありませんが、一学期を終わり夏休みを迎えることになりました。保護者の皆様や地域の方々には、多方面でご支援とご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。また、今学期中にいただいたご意見や叱正等につきましては、今後に活かして参ります。

「一学期の振り返りと夏休みについて」

終業式での校長の話（要旨）

四月に一学期をスタートして以来早いもので四か月程が過ぎようとしています。本日、欠席している人はいますが、今日の終業式を迎えられたことを、まず喜びたいと思います。一年生の皆さんは、この四か月の間に随分と中学生らしくなってきました。二、三年生の先輩らしさは、部活動や集会活動などの場面で強く感じられるようになっています。特に三年生では伊藤会長を中心に生徒会をリードする場面、高校説明会で自分の進路を考える場面などに、多く見られるようになり、大変頼もしく思います。

一学期の始業式では、「良い習慣を身に付けよう、人とつながる力と挑戦する力」を伸ばして欲しいと伝えました。そして、壁にぶつかっても、周りの人の助けを借りたり、目標を修正したりするなど、乗り越えようと呼びかけました。まだまだ伸びしろがあると思いますし、個人差もありますが、授業や部活動、生徒会活動などの学校生活に多くの皆さんが熱心に取り組んでいる様子が見られました。そして、着実に力が伸びてきていると思いました。本当にご苦労様でした。

この他に皆さんの成長を感じたのは、校舎まわりの「ミ」拾いをしていくときです。落ちていた「ミ」が数年前に四中に勤務していた時に比べ、ものすごく少なくなりました。前は、おそらく一部の人がポイ捨てをしていたからだと思うのですが、正直、文房具の壊れたものや飴

の袋、マスクなど捨てるも捨てるもあるという状態でした。しかし、今は本当に「ミ」が少ないです。これは生徒の皆さんの中にルールやマナーを守って、前向きに頑張ることが良いことだという雰囲気ができているからだと思っています。これからも生徒や先生方みんなの力で、この状態が続くようにしていきたいと思いました。

一方、始業式では、失敗したり、間違えたりしても受け入れてくれる学級や学年、部活動の仲間づくり、生徒一人一人が安心して力を伸ばしていける松江四中にしていこう呼びかけもしました。こちらについては、他の人の言動によって、傷ついた人が一部いたことは事実で、改善しなければいけません。今学期の反省点、改善点の一つとして、今後取り組んでいきましょう。

明日からは夏休みです。夏休みは授業があるときに比べ、自分で自由に過ごすことができる時間が長くなると思います。ぜひ、読書や苦手教科の復習、体力づくりなど、目標をもった計画を立てたりして、自分にとって有意義な夏休みにしてください。

二学期の始業式、八月二十九日には一段と成長した皆さんとお会いすることを楽しみにしています。

「高等学校等説明会」



六月二十六日（水）と二十七日（木）の二日間、高等学校等説明会を実施しました。高等学校等の先生方から直接お話を聞ける機会、また、今年度より公立高等学校入学者選抜が大幅に変更されることもあり、参加した三年生たちは真剣な表情で聞き入っていました。また、保護者の方にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。進路選択に必要な情報を得ていただけたのではないかと考えております。夏休みには、三年生で三者面談を計画していますし、各高校等のオ

ープンハイスクールもあります。今回の高等学校等説明会をきっかけに、さらに中学校卒業後の目標や進路希望が明確になっていくことを願っています。

「体育祭に向けて 集会活動が始まりました」

本年度の体育祭は、九月十二日（木）に実施予定です。スローガンは「Team's仲間とともにゴールまで」、この体育祭に向けた準備活動が生徒会の企画で動き始めました。



七月二日（火）には全校生徒が集まって色決め集会を行いました。生徒会役員が事前に準備をした様々な形のクジを学級代表が引きましたが、生徒達は何色になるのかや、どのクラスと一緒にするのか、ワクワクしながら、そして楽しみながら抽選の行方を見守っていました。

また、色決め集会後に行った色別集会では、自己紹介や三年生から一、二年生に体育祭に向けて意気込みが語られたり、選手決めをしました。

体育祭を実施する目的の一つが、学年縦割りでの活動です。異学年が関わりあう中で様々なことを学んでほしいと思います。集会の様子は、どの色もまとまりがよく、今後の活動の深まりに期待がもてそうです。

「一年生薬物乱用防止教室」

七月四日（木）、学校薬剤師の田中浩志先生を講師にお迎えして行いました。講演後に書いた生徒のワークシートの感想には次のようなものがありました。

・たばこや大麻は有害だと知っていたけど、一般薬品や頭痛薬でも飲

みすぎると薬物乱用になること、普通の使い方ではない方法で使用する怖さを初めて知りました。

・薬物を使うとこれまで大切に育ててもらった人生が壊れてしまうので、絶対に使ってはいけないことが分かった。友達に誘われたら断りづらいけど、断るだけではなく、使ってはいけないことを知らせることが大切だと分かった。

・私は薬物乱用について聞き、「依存」は怖いと思いました。その時が楽しくても、後から自分を苦しめることはやりたくないと考えたので、これからどんなことがあっても薬物乱用をしないように心がけたいです。

・誘われても、ノリが悪いと思われても、断ること。タバコ・薬物は自分にも害があるし、相手も苦しめてしまうから良くないことが分かった。

この他、分かったこと、気づいたこと等たくさんあったようです。ほとんどの生徒が、薬物に依存する恐ろしさや、誘われても断る意志の大切さに触れていましたが、これからも今日学んだ内容を忘れず実行して欲しいと思います。

「まっえ『夢☆未来』塾 三年生総合的な学習の時間」

七月五日（金）、様々な職種の方のお話を聞く機会を設定しました。お話しいただいたのは、島根県看護協会の内田様、原様、山陰中央テレビジョン放送の奥村様、藤本米穀の藤本様、農業の小松原様、社会



福祉法人豊心会の武部様です。今回のねらいは、地元で働き活躍している人の話を聞き、進路選択に対する関心をもつこと。そして、働く人の歩みを知り、自らの生き方について考える機会とすることです。生徒たちは事前に希望した方のお話を聴きました。講師の皆様には、経験に基づく大変示唆に富んだお話をしただき、また、聴診器をつかったり、テレビの原稿を読んだりする体験など

も取り入れていただいて、大変充実した学習になりました。講師の皆様、ありがとうございました。

「もしも子どもがLGBTだったら？」

～みんなが自分らしく生きる未来へ～ PTA研修会」

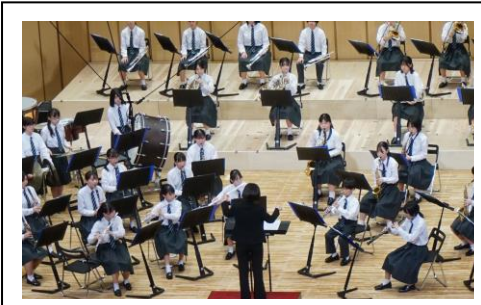
六月二十八日（金）、PTA研修部主催の研修会を行いました。講師にはLGBT理解啓発講師の佐藤みどり様をお迎えし、ご講演いただきました。ご自身の体験談を中心に、参加者同士が意見を交換する時間をとりながら、わかりやすくお話しいただきました。参加者は四十五名ほどでしたが、LGBTが身近なことであること、見えない鎖（偏見、思い込みなど）で自分や相手を縛っていないか、自分の中の常識を疑い知識をアップデートさせることなど、この問題について認識を深めることができました。お世話になった講師様、PTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

「校内少年の主張大会」

七月十七日（水）、校内少年の主張校内大会が行われ、各学年代表の六名が熱弁を奮いました。今年度は暑さの中でも聴き手が集中できるよう、聴衆のいるエアコンのきいた教室と発表する視聴覚室をウェブ会議システムでつないで行いました。いずれの代表も自己の経験を通して、説得力のある意見を述べることができました。審査の結果、三年三組の河野 心さんが学校代表として、八月二十七日（火）鹿島文化ホールで開催される松江市大会に出場することになりました。

「バンドフェスティバル」

七月十五日（月）の海の日に県民会館で開催されたバンドフェスティバルに吹奏楽部が参加しました。「フロンティア・スピリット」と「ノアの方舟」を演奏し、聴衆から大きな拍手が起りました。今後、大きな目標である全日本吹奏楽コンクール島根県大会に向けた仕上げの練習をしていくこととなります。今回の演奏に満足することなく八月三日の県大会本番に向け、さらに良い演奏となるよう期待しています。



「生成AIの利用について」

対話型生成AIは、文章作成、翻訳等の素案作成、ブレインストーミングの壁打ち相手など、多岐にわたる活用が広まりつつあります。このような状況の中、昨年度、文部科学省から「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」が発表され、これを基に市教委より「松江市教育委員会としての現時点での対応について」市立学校宛に通知がありました。これにより、四中では次のように生徒に指導していますので、お知らせいたします。

○AIの利用を想定していないコンクールの作品やレポートなどについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出することは評価基準や応募規約によっては不適切又は不正な行為に当たるので、生成AIを使用しないこと。

○長期休業中の課題等について、生成AIによる生成物として提出することは、活動を通じた学びが得られず、自分のためにならないので、生成AIを使用しないこと。

なお、各生成AIの利用規約には年齢制限と保護者の同意の規定がありますので、順守をお願いします。

お知らせとお願い

○休業中の生徒の帰宅時刻につきましては、市内中学校で一律に午後七時としています。（お祭りなど特別な場合は、保護者の同意があれば午後十時まで）

○本年度の夏季学校閉庁は、八月十一日（日）～十七日（土）です。この間の緊急連絡は、松江市教育委員会（平日八時三十分～十七時十五分 電話55-5423又は55-5424）です。

○夏休み等の長期休業明けは、全国的に自死等を含む懸案が多発しています。ご家庭におかれましても子どもたちの言動にご注意いただき、心配なことがございましたら、早い段階で学校や相談機関にご一報あるいはご相談頂きますよう、お願いいたします。